

保育科学生へのピアノ指導法の基礎研究（2）

一運指法を出発点とする指導の可能性②一

○岩口 摂子 三宅 義和
(南海福祉専門学校) (関西学院大学)

はじめに

保育現場で必要とされる幼児歌曲の伴奏技術を獲得する上で、バイエルに代表されるような一般ピアノ学習者向けの導入教材を用いた指導法の縮小や応用は、直接有効的ではないのではないかという仮説に基づき、ある短大の全ピアノレベルの学生の、幼児歌曲の旋律パート（右手部分）に対する指使い決定能力について調査した。その結果として第50回大会では、幼児歌曲の右手の弾きにくさは、ピアノ学習年数や進度のような弾き手側の要因よりも、むしろフレーズそのものの構造に依拠するという一つの結論を述べた。そこで一般的ピアノ導入教材を代表するものとして選んだバイエルの曲と幼児歌曲を比較検討することにより、幼児歌曲の右手部分の運指技術にとって一般的ピアノ導入教材の何が効果的か、また何が機能していないかという点を明らかにしていくことが重要であると思われる。本来、ある幼児歌曲集^(註1)とバイエルを同レベルで比較することは曲数の上からも、演奏手段が異なることによる曲の性質の違いということからも非常に困難であるが、本研究では両教材間での差異を明らかにしていくための一つの方策として旋律の構造（①調性、②音組織）とそれに伴う指の動き（③2音間における運指パターン、④間違いやすい運指パターンの連続）について分析・比較を行った。

両教材間の分析・比較

①調性（表1）

②音組織

バイエルは純然たる調性音楽である。一方幼児歌曲にはわらべうたや、調性音楽でありながらヨナ抜き長音階で構成されたものも多く含まれている。両教材間で共通するところは、部分的また全体的な音階の使用、半音階的経過音や半音階的刺繍音等の非和声音の使用、分散和音での構成等である。但し分散和音については、バイエルでは3和音から成る分散型が多いのに対し、幼児歌曲では3和音から成る分散型に加え、4和音から成る分散型も見られる。その他バイエルでは、音階的順次進行に持続音の装飾がついたものや同音連打等も見られる。

③2音間における運指パターン（表2 表3）

両教材とも第1指から第5指の音程が6度になる指広げの運指パターンが多く見られる。異なる点はバイエルでは同音連打が多いこと、幼児歌曲では第1指－第2指間以外

の隣接する指間での開き等、バイエルではあまり見られない運指パターンが存在する。

指くぐり・指まわしに関しては、バイエルでは全て2度での指くぐり・指まわしであるが、幼児歌曲では3度離れた指くぐり・指まわしが4種類ある。

指飛びについては、幼児歌曲に比べバイエルの方が指飛びの回数が多く、手の交差によるものも含め、広い音域にわたる跳躍が見られる。

④間違いやすい運指パターンの連続

演奏上の音の間違いは結果として基本ポジション（第1指から第5指の音程が5度で5本の指が1指1鍵に対応している手と鍵盤の関係）の移動を伴う運指パターン（指広げ、指ちぢめ、指くぐり、指まわし等）を用いなければならない時に往々にして起こることから、ここではそれを「間違いやすい運指パターン」と命名し、それが連続する場合、どのようなパターンの組み合わせで連続するのかを大きく9つに分類し、その内容とその出現頻度を調べた（表4）。その結果、両教材間で復元パターン（間違いやすい運指パターンが逆の方向でもリピートされる組み合わせと、先に間違いやすい運指パターンで起こった手の状態のまま、先に使用した指とは別の指を使用した組み合わせのこと）が見られた。しかし両教材間で決定的に違うのは幼児歌曲では、指広げが連続する組み合わせの出現回数、種類が特に多いことを始め、指広げと指ちぢめの組み合わせ、指広げと同音連打の組み合わせ、指広げと指くぐり・指まわしの組み合わせ等、指広げ（指ちぢめも含む）と何かとの組み合わせがバイエルに比べ多いことである。また同音連打や指くぐり・指まわしが連続する組み合わせについてはバイエルの方が出現回数が多かった。

考察

以上の項目①～④の結果から、バイエルの教材の中で幼児歌曲に応用できるのはハ長調とト長調の練習であり、第1指から第5指の音程が6度になる指広げのポジションと指くぐり・指まわしぐらいであると考えられる。但し先述したように、幼児歌曲では各調の音階で普通は指くぐり・指まわしするポイントで、指くぐり・指まわしをしなかったりすることも多く、幼児歌曲の指使いを考える際には、各音階の一般的指くぐり・指まわしのポイントに関する固定概念がかえって、障害になりうる場合もあると予想される。また第1指から第5指が6度の指広げポジションにお

いても第1指と第2指間の3度開きに加え、ヨナ抜き長音階の構成音間等で、他の隣接する指間での3度開きも見られる。運指パターンの連続における分析では、一連のヨナ抜き長音階の進行である場合、間違いにくい運指パターンにカウントされてしまうことが多いので示すことができなかったが、配置によっては第3指-第4指間の3度の開きも起こりうるのである。

従って幼児歌曲の右手旋律の運指技術の習得には、バイエルにない「第1指-第2指間以外の隣接する指間における指広げ」「指広げ（指ちぢめ）が連続する運指パターン」

「指広げと指ちぢめが連続する運指パターン」「指広げ（指ちぢめも含む）と同音連打が連続する運指パターン」「指広げ（指ちぢめ）と指くぐり・指まわしが連続する運指パターン」「3度離れた指くぐり・指まわし」の運指練習を、幼児歌曲において頻出度の高いへ長調やハ長調、ニ長調、ト長調を中心とした調性において補っていくことが必要となるであろう。

(注1) ここで使用した幼児歌曲集は、本校で使っているテキストの小林美穂『こどものうた200』チャイルド本社であるが、実際には202曲ある。うち1曲は旋律のない手あそびうたのため省き、調査曲は201曲となった。

表1

調性	教材	バイエル (106曲)	幼児歌曲 (201曲)
わらべうた		0 (0.0%)	14 (7.0%)
ハ長調		64 (60.4%)	42 (20.9%)
へ長調		8 (7.5%)	74 (36.8%)
ト長調		22 (20.8%)	16 (8.0%)
ニ長調		2 (1.9%)	35 (17.4%)
イ長調		2 (1.9%)	1 (0.5%)
ホ長調		1 (0.9%)	1 (0.5%)
変ロ長調		1 (0.9%)	7 (3.5%)
変ホ長調		0 (0.0%)	7 (3.5%)
変イ長調		0 (0.0%)	1 (0.5%)
変ト長調		0 (0.0%)	1 (0.5%)
イ短調		6 (5.7%)	0 (0.0%)
ホ短調		0 (0.0%)	1 (0.5%)
ハ短調		0 (0.0%)	1 (0.5%)

表2

【バイエル】2音間における間違いない運指パターンの出現回数

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	12回
パターンの種類		2種類	12種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表2-1(3) 指広げ (○) と指ちぢめ (△) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	12回
パターンの種類		2種類	12種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表2-1(4) 同音連打 (●) が連続する組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		3回	2回
パターンの種類		7種類	2種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表2-1(5) 指くぐり (U) または指まわし (N) が連続する組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		7回	1回
パターンの種類		4種類	1種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表2-1(6) 指広げ (○) (指ちぢめ (△) も含む) と同音連打 (●) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		4回	12回
パターンの種類		3種類	11種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表3

【幼児歌曲】2音間における間違いない運指パターンの出現回数

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		10回	16回
パターンの種類		7種類	16種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表3-1(7) 指広げ (○) (指ちぢめ (△) も含む) と、指くぐり (U) または指まわし (N) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		10回	16回
パターンの種類		7種類	16種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表3-1(8) 同音連打 (●) と、指くぐり (U) または指まわし (N) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	1回
パターンの種類		2種類	1種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表3-1(9) その他 (上記1)-(8)に当てはまらない組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	3回
パターンの種類		1種類	2種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(1) ある間違いない運指パターンが逆の方向へ還元される組み合わせ
1 後の指が、先に使用した指と同じ指を使用した組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		6回	0
パターンの種類		3種類	0
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(1) ある間違いない運指パターンが逆の方向へ還元される組み合わせ
2 後の指が、先に使用した指と別の指を使用した組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		20回	20回
パターンの種類		7種類	7種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(2) 指広げ (○) が連続する組み合わせ (指1 (○) と1を指くぐり)

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		9回	5回
パターンの種類		4種類	20種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(3) 指広げ (○) と指ちぢめ (△) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	12回
パターンの種類		2種類	12種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(4) 同音連打 (●) が連続する組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		3回	2回
パターンの種類		7種類	2種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(5) 指くぐり (U) または指まわし (N) が連続する組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		7回	1回
パターンの種類		4種類	1種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(6) 指広げ (○) (指ちぢめ (△) も含む) と同音連打 (●) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		4回	12回
パターンの種類		3種類	11種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(7) 指広げ (○) (指ちぢめ (△) も含む) と、指くぐり (U) または指まわし (N) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		10回	16回
パターンの種類		7種類	16種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(8) 同音連打 (●) と、指くぐり (U) または指まわし (N) の組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	1回
パターンの種類		2種類	1種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

表4-1(9) その他 (上記1)-(8)に当てはまらない組み合わせ

項目	教材	バイエル	幼児歌曲
出現回数		2回	3回
パターンの種類		1種類	2種類
頻出パターンとその回数		なし	なし

※その他のバイエルでは、指広げと同音連打と指くぐりが連続する組み合わせが1回、幼児歌曲では指広げを含む組み合わせが1回見られた (指広げと指広げ以外のパターンの組み合わせは1回だけ見られたことになる)。